

写真で見る つるおかの今昔

鶴岡の風物や人々の暮らしについて、昔の写真と今の姿を比較しながら、その歴史をひもときます。

第1回 昨年、開館から100年を迎えた 大宝館



▲図書館としての晩年（昭和50年代後半）



▲現在

大宝館は、大正天皇の即位を記念して建設され、大正4年11月10日に開館しました。中央の赤いドームが特徴的な擬洋風建築で、昭和56年に本市の有形文化財に登録されています。開館当初は1階が図書館と物産陳列場、2階が大小の集会場と食堂として使用されていました。

白壁の装いが美しい大宝館ですが、第二次世界大戦末期の20年、空襲を避けるために黒く塗装されたという逸話があります。写真が残っていないため、今では黒い外観を想像することしかできませんが、当時、いかにその白い姿が目立つ存在であったかをうかがい知ることができます。終戦から4年後の24年9月、再び白く塗り直され、今のような姿に戻りました。

その後、26年に全館が図書館として使用されることとなり、市内家中新町に現在の図書館本館が完成する60年まで、34年間にわたって多くの人々に親しまれました。図書館機能移転後は、建設されてから70年ほど経過していたこともあり、施設の老朽化が著しく一時閉館。全面的な保存修理が行われ、63年4月に「郷土ゆかりの人物資料館」として再び開館し、市民や観光客を迎え入れています。

鶴岡公園のシンボルの一つでもある大宝館。その優雅なたたずまいは、開館から100年がたった今も色あせることなく、四季の移ろいに調和した美しさで行き交う人々の目を楽しませてくれています。

■問合せ／郷土資料館 ☎25 - 2525

■まかせて会員は次のような方です

子育て経験を生かしたい方、子育て家庭を応援したい方等が会員登録しています。

▼まかせて会員募集中 子供が好きな方であれば、どなたでも登録できます（子育てや救急救命等に関する講座の受講が必要です）

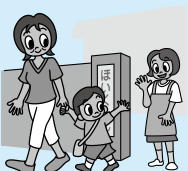
■利用料金 1時間当たり600円〜800円（利用日時によって異なります。ひとり親家庭については助成制度あり）

■利用の流れ

- ①会員登録 急病や急用等の場合に備えて登録することもできます
- ②まかせて会員と顔合わせ 条件の合うまかせて会員を紹介します
- ③預かり等の申込み 電話等で希望日時をお知らせください。預かり等が可能か確認します
- ④預かり等 原則として、預かる場所はまかせて会員の自宅です
- ⑤利用料金の支払い 預かり等の後に、直接まかせて会員へお支払いください

■利用申込み 子ども家庭支援センター（にこふる）内「ファミリー・サポート・センター」事務局 ☎25・2741

もしお困りのことがあったら、一人で抱え込まず、気軽にご相談ください。



＜子ども家庭支援センター＞